

第36期社会教育委員会議建議の構成と分担等について（案）

※第35期建議を参考にした構成イメージです。

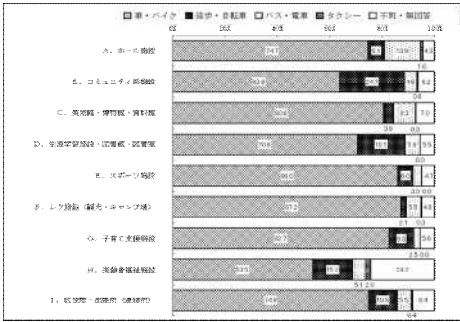
各章のタイトルや内容の詳細は適宜検討いただきますよう、お願いいたします。

タイトル	「共に学び支え合う地域社会の実現に向けた社会教育人材のネットワーク形成」	執筆分担（案）
はじめに （前文）	○ 経緯等	議長
目次		事務局
項 目	第1章 生涯学習・社会教育をめぐる状況	事務局
	(1) 国の動向 (2) 新潟県・新潟市の動向 ※社会教育人材のネットワークに関連した内容について	
	第2章 先行事例から学ぶこと・それを受けて委員自身が感じたこと	「生涯学び活躍できる社会教育人材ネットワーク」グループ
	(1) 第5回会議講話「社会教育人材ネットワークについて」より埼玉県的事例 (2) 島根県社会教育人材バンクについて	
	第3章 社会教育関係課所属職員へのアンケート結果まとめ	
	(1) アンケートの概要 (2) 結果まとめ	
	第4章 地域の活動団体へのヒアリング内容まとめ	
	(1) 小委員会ヒアリングより各実践事例 ①NPO法人ふるさと未来創造堂 ②にいがたまちあそび学校「KAIKOU!」 (2) 視察ヒアリングより各実践事例 ①みんなの小さな図書館 ひとハコBase ②異人池建築図書館喫茶店 ③NPO法人新潟ねっと イツモノトコ (3) 提言	
	第5章 こどもの居場所という視点から、社会教育資源のネットワーク構築及び活用の上で留意すべきこと	「こどもの多様な居場所づくりのための社会教育人材ネットワーク」グループ
	(1) 学校教育からの視点 (2) 学校に通う子どもたちの視点から見た社会教育の政策で配慮してほしいこと (3) 提言	
第6章 社会教育委員へのインタビュー	「生涯学び活躍できる社会教育人材ネットワーク」グループ	
(1) 委員同士の相互インタビュー (2) 各分野から		
おわりに	○ 今後に向けて	副議長
その他資料等	○ 調査の概略（視察レポート）	各委員
	○ 第36期新潟市社会教育委員会議 審議経過 ○ 第36期新潟市社会教育委員会議 委員名簿	事務局

原稿は次のように作成してください。

各グループごとに体裁を整えて事務局に提出してください。

なお、執筆を進める中で上記以外に体裁を整えるためのルールが必要となった場合は別途共有します。

形式・各設定	①Word形式 ②A4横書き(40文字×42行) ③余白：上下15mm、左右30mm ④フォント：MS明朝
文字の大きさ	第1章 生涯学習・社会教育をめぐる状況 (14pt) 第1節 国の動向 (12pt) (1) 第4期教育振興基本計画について (11pt) 文部科学省では～【本文】 (10.5pt)
語尾	「～だ。」「～した。」 ※です・ます調ではない
注釈	(本文) 第4期教育振興基本計画では、社会の現状と変化を踏まえ、…(中略)…「日本社会に根差したウェルビーイング(※1)の向上」の2つのコンセプトを掲げている。 語句の後ろに(※1)と記載し、建議巻末に「語句説明」ページを設ける。 ※説明の必要な語句の数が少ない場合は、当該ページの下に記載する等、変更の可能性あり
図表	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>※図や表の下に 内容を記載する</p> </div> </div> <p>図1-1 『〇〇調査』 「2.新潟市の▲▲について」の回答割合 (9pt)</p>
参考文献など	建議巻末に「参考文献など」ページを設ける。